

事業群評価調書(平成28年度実施)

基本戦略名	10 にぎわいと暮らしを支える社会基盤を整備する	事業群主管所属	企画振興部新幹線・総合交通対策課
施策名	(1) 九州新幹線西九州ルートなどの人流・物流を支える交通ネットワークの確立	課(室)長名	早稲田 智仁
事業群名	① 九州新幹線西九州ルートの整備促進	事業群関係課(室)	新幹線事業対策室

1. 計画等概要

【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)】

《長崎県総合計画チャレンジ2020 本文》

九州新幹線西九州ルートは、西九州地域の産業振興や交流人口の拡大、離島地域の活性化等につながる重要な交通基盤であり、鹿児島ルートとともに一体的に整備することで九州地域の一体的浮揚をもたらすことから、早期完成・開業を目指します。また、新幹線を軸として、佐世保線等の県内鉄道の輸送改善に努めます。

事業群指標	最終目標 (H32)	基準値	実績 (H27)	達成率	【進捗状況の分析】
土木工事・軌道工事の整備促進	概成(H32年度まで)	-	-	-	西九州ルートは、平成28年3月29日、与党PT「九州新幹線(西九州ルート)検討委員会」、国土交通省、鉄道・運輸機構、長崎県、佐賀県、JR九州による関係六者において、対面乗換方式により平成34年度に開業すること、地元の実質負担が生じないような措置を講じることなどを内容とする合意に至った。また、フリーゲージトレインについては、改良された台車で回転試験(室内)が行われており、開発状況を注視する必要がある。
事業群の進捗状況					

【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)の分析】

《取組項目及び現状と課題》

i) 西九州ルートの平成34年度までの開業

- ・平成28年3月29日、「九州新幹線(西九州ルート)の開業のあり方に係る合意」により、平成34年度までの開業に向けた道筋が示された。
- ・平成34年度までの完成・開業やフリーゲージトレインの耐久走行試験の着実な実施、山陽新幹線への乗り入れなどについて、政府施策要望や整備新幹線関係18都道府県合同要望を通じて、国等への要望活動を実施するとともに、与党や政府の動向について情報収集を行っている。
- ・フリーゲージトレインについて、平成27年12月の国の軌間可変技術評価委員会の結果を受けて、平成28年5月から改良された台車で回転試験(室内)が行われており、その開発状況を注視していく。
- ・県民の西九州ルートに対する理解を深めるため、広報・啓発活動として県HPによる情報発信を実施し、長崎新幹線・鉄道利用促進協議会を通じ各種イベントでのPRブースの出展や広告等媒体を活用した広報活動を実施している。
- ・JR佐世保線(肥前山口～佐世保間)の輸送改善は、県北地域の発展と新幹線開業効果の波及にとって重要な課題であり、平成27年度には、県と佐世保市が共同で、JR佐世保線の高速化やフリーゲージトレインの導入の可能性を含め、複数の輸送改善手段について調査を行ったところである。今後、調査結果のさらなる精査を行い、引き続き検討を深める。

ii) 西九州ルートの早期完成・開業を目指した整備促進

- ・九州新幹線西九州ルートの建設に係る、鉄道建設負担金の支出。
- ・九州新幹線西九州ルートの建設に係る、用地取得業務について、鉄道・運輸機構から受託。
- ・事業者である、鉄道・運輸機構や地元市町等と連携して、新幹線事業が円滑に推進されるよう調整・対応を行ってきたところであり、今後も、これから本格化する諫早・長崎間の用地取得や工事関係の対応等について鉄道・運輸機構と連携し、県としても積極的に取り組んでいく。

2. 27年度取組実績

取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業概要		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)					事業の成果等	中核事業		
			H27実績	一般財源	人件費(参考)	事業対象	事業内容 (事業の実施状況)	指標	主な目標	H27目標	H27実績	達成率				
			H28計画	一般財源	人件費(参考)					H28目標	—	—				
取組項目 i	新幹線・鉄道整備促進事業	H7-	48,347	36,791	32,224	国、市町、鉄道事業者等	九州新幹線西九州ルート ¹ の武雄温泉・長崎間の早期整備を目指し、国等への要望活動や県内向けの広報・啓発活動を行うとともに、県内鉄道網の整備ならびに改善の促進を図った。	活動指標	要望活動	数値目標なし	3	—	平成28年3月、本県をはじめとする関係六者間の合意において、対面乗換方式により平成34年度に開業すること等が合意された。	○		
	新幹線・総合交通対策課		26,478	26,478	40,325			成果指標	西九州ルート ¹ の平成34年度までの開業	数値目標なし	—	—				
取組項目 ii	新幹線整備事業費負担金	H19-	6,232,100	635	0	鉄道・運輸機構	九州新幹線西九州ルート ¹ の建設に係る、鉄道・運輸機構に対する負担金	活動指標	負担金支出額(千円)	数値目標なし	6,232,100	—			九州新幹線西九州ルート ¹ の建設に寄与した。	
	新幹線事業対策室		18,857,889	94	0			成果指標	西九州ルート ¹ の平成34年度までの開業	数値目標なし	—	—				
	新幹線整備事業費	H21-	70,715	0	0	鉄道・運輸機構	九州新幹線西九州ルート ¹ の建設に係る、用地取得業務の委託	活動指標	用地取得率(%)	数値目標なし	87	—	九州新幹線西九州ルート ¹ の建設に寄与した。			
	新幹線事業対策室		72,169	0	0			成果指標	西九州ルート ¹ の平成34年度までの開業	数値目標なし	—	—				

3. 検証及び問題点の抽出

【課題解決に向けて取り組んだ事務事業の実績の検証】

i) 西九州ルート¹の平成34年度までの開業

・国等への要望活動や情報収集活動等を行った結果、地元の意向を汲み取り、平成28年3月の関係六者間の合意において、平成34年度に対面乗換方式により開業すること、追加費用について実質負担が生じない措置等が講じられた。この合意により、平成34年度までの開業に向けて具体的な道筋が示され、九州北部地域の活性化や沿線のまちづくりにとって大きな契機となった。

・新幹線を活用したまちづくりに対する機運醸成が求められているため、現在の活動に加えて今後策定するアクションプランにおいて戦略的な情報発信案を検討する必要がある。

・JR佐世保線の輸送改善に向けた取組については、平成27年度に実施した調査では、高速化を効果的・効率的に図る観点から、現行のJR佐世保線の線形を変えない中で、在来線の高速化及びフリーゲージレインの佐世保市への乗り入れについて、曲線改良、構内改良、軌道強化、車両導入等の輸送改善メニューを検討したが、地盤や用地、橋りょう設備など個々の状況を詳細に現地調査したものではなく、一定のデータを用いて算出したものであることから、今後、さらに精査を行う際に事業費の変動などが見込まれる。

ii) 西九州ルート¹の早期完成・開業を目指した整備促進

・早期完成・開業をできるように鉄道・運輸機構や地元市町等と連携して、用地取得や工事の進捗を図っていく。



4. 29年度実施に向けた方向性

【問題点解決に向けた方向性】	【個別事務事業の見直し】			見直し区分
	事務事業名	事業構築の視点	見直しの方向	
<p>i) 西九州ルートの開業 平成28年3月の六者合意に基づき、平成34年度までの開業に向けて着実に整備を進めるなど、合意事項の確実な実現、フリーゲージトレイン量産車の実現に向けた技術開発の着実な推進や山陽新幹線への直通運行等を国などへ求めていくとともに、中央情勢の把握に努める。</p> <p>今後策定するアクションプランにおいて戦略的な情報発信案を検討する必要がある。</p> <p>JR佐世保線の輸送改善に向けた取組として、フリーゲージトレインの開発状況を注視していくとともに、新幹線の開業効果を県北地区へ波及させるため、平成27年度の調査結果の更なる精査を行いながら、輸送改善の検討を深めていく。</p>	新幹線・鉄道整備促進事業	—	西九州ルートの開業に向けて、平成28年3月の六者合意における合意事項の確実な実現を図ること及びフリーゲージトレイン量産車の実現に向けた技術開発の着実な推進並びに山陽新幹線への直通運行等について、国等に対する要望活動を継続的に行っていく必要がある。また、広報・啓発活動を継続的に実施することにより、西九州ルート開業に向けた機運醸成を引き続き図っていく必要がある。	現状維持
<p>ii) 西九州ルートの早期完成・開業を目指した整備促進 平成34年度までの開業に向けて、今後も引き続き建設負担金を支出していく。</p> <p>事業者である鉄道・運輸機構や地元市町等と連携して新幹線事業が円滑に推進されるよう調整・対応を行うとともに、用地取得の進捗を図っていく。</p>	新幹線整備事業費負担金	—	西九州ルートの平成34年度までの開業に向けて、今後も鉄道建設費負担金を支出していく必要があるため。	現状維持
	新幹線整備事業費	—	西九州ルートの平成34年度までの開業に向けて、用地取得業務の進捗を図っていく必要があるため。	現状維持